

NEWS RELEASE

土屋ホーム GX ZEH導入に向け 太陽光発電設備を全棟で標準搭載 2026年1月より全ての販売エリアで発売開始

株式会社土屋ホーム(以下、土屋ホーム)は、経済産業省が2027年4月より現行の「ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)」を進化させた新基準「GX ZEH(グリーントランスフォーメーション・ゼッチ)への対応に向けた取り組みとして、2026年1月より、北海道を含む全販売エリアで、太陽光発電設備を全棟標準搭載として発売を開始します。また、2027年までに蓄電池の標準化に向けた取り組みを進めてまいります。これにより、土屋ホームのこれまでの高断熱、高耐震、高耐久性能である高性能仕様と組み合わせることで、ランニングコストの低減とレジリエンス性能の強化を図り、将来にわたり、より長く安心して暮らせる住まいの提供を目指してまいります。



太陽光発電設備 を全棟標準搭載

近年、化石燃料価格の高騰により電気料金の上昇が続く中、家庭のエネルギー自給に対する需要が高まっています。土屋ホームでは東日本販売エリアにて既に太陽光発電設備の全棟に標準搭載しておりますが、積雪寒冷地であるため普及率が低水準の北海道販売エリアにおいても全棟搭載を標準化します。

断熱等級7 を標準仕様として採用

2022年度、省エネ大賞「経済産業大臣賞」を受賞した、最高断熱等級7 を実現する「BES-T019(ベスト・ゼロ・ワン・ナイン)」を標準仕様とし、外皮性能の向上と一次エネルギー消費量の大幅な削減を実現します。

耐震等級3 取得を標準化

2019年より全棟で許容応力度計算を実施し、全住戸で 耐震等級3 の取得を標準化。さらに、災害時のレジリエンスを強化し、地震に強い住まいづくりを推進しています。

高耐久外壁材 を標準仕様

住まいの長寿命化を目的に、2025年より 高耐久外壁材 を標準仕様とし、メンテナンス負担の軽減と建物価値の維持に取り組んでいます。

土屋ホームの**太陽光**×**高断熱**×**高耐震**×**高耐久**で実現する GX ZEH 基準を超える価値ある住まい

背景

自然災害の多発、エネルギー価格の高騰、建築コストの上昇など、住宅購入者を取り巻く環境は大きく変化しています。こうした社会課題に対し、土屋ホームは省エネ・断熱・耐震・耐久の4つの性能を軸に、住宅の価値向上と暮らしの負担軽減の両立を目指してきました。



住宅性能

1 全棟搭載の太陽光発電システム



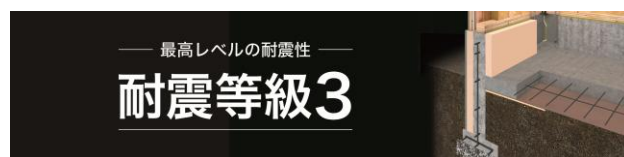
GXZEH基準をクリアするため太陽光発電設備を標準搭載し、環境負荷の低減とエネルギー自給率の向上を実現。日々のランニングコスト低減にも寄与する住まいづくりを推進します。

2 最高断熱等級7を超える住宅品質



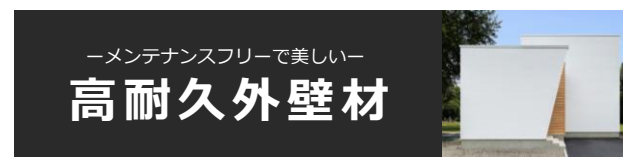
真冬に無暖房でも室内温度が15℃を下回らないレベルです。気候に左右されることなく一年中快適であるだけでなく、省エネ性や耐久性においてもハイレベルな住宅品質をお約束します。

3 最高レベルの耐震性 耐震等級3



安全性を第一に優先し、全棟で緻密な構造計算（許容応力度計算）を実施し安全を数値化します。建築基準法レベルの1.5倍の強さを示す耐震等級3で、家を守り安心をお届けします。

4 高耐久外壁材による長寿命化



高い耐候性と耐久性を備えた高耐久外壁材の標準採用により、メンテナンス負担の軽減と住宅寿命の向上を実現し、住まいの価値を守り続けます。

■ 本件に関するお問い合わせ

株式会社土屋ホーム 土屋ホーム本社 設計本部 担当：吉戸 TEL.011-717-3313

■ 株式会社 土屋ホーム

〒060-0809 札幌市北区北9条西3丁目7番地 TEL.011-717-3333

<https://www.tsuchiyahome.jp/>